

令和5年度 社会福祉法人妙心福祉会

事業執行報告

I 理事会・評議員会等の動向

1 理事会及び評議員会等の開催状況

令和5年度において、下記のとおり理事会等を開催し、適正な運営に努めました。

年月日・会場等	内 容	摘要
令和5年5月16日 10:00～特養ブナの里 会議室	監事監査 ・令和4年度事業報告 ・令和4年度収支決算	監事2名 常務理事、施設長 事務担当者
令和5年6月6日 13:30～特養ブナの里 会議室	令和5年度第1回理事会 ・令和4年度事業報告について ・令和4年度収支決算及び監査報告について ・理事及び監事の候補者の選考について ・評議員選任・解任委員会の招集について ・評議員選任候補者の推薦について ・令和5年度第1回評議員会の議題について	承認
令和5年6月15日 13:30～特養ブナの里 会議室	令和5年第1回評議員選任・解任委員会 ・評議員1名の解任及び候補者の選任について ・候補者 橋 詰 敏一 氏	承認
令和5年6月27日 13:30～特養ブナの里 2F多機能ホール	令和5年度第1回評議員会 ・令和4年度事業報告について ・令和4年度収支決算及び監査報告について ・理事・監事の選任(理事2名は後日審議) ・評議員の選任について(報告)	承認
令和5年7月19日 書面審査	令和5年度第3回理事会 ・欠員理事2名の候補者選考について ・候補者 前任理事 馬場 成男 氏 前任理事 川上 進 氏	全員の同意により承認
令和5年7月31日 書面審査	令和5年度第2回評議員会 ・欠員理事2名の選任について ・候補者 前任理事 馬場 成男 氏 前任理事 川上 進 氏	全員の同意により承認
令和5年8月16日 書面審査	令和5年度第4回理事会 ・理事長の選定について 理事長 梨本重城氏 ・業務執行理事の選定について 業務執行理事 上野俊一氏	全員の同意により承認

令和5年10月5日 13:30～ブナの里 会議室	令和5年度第5回理事会 ・ブナの里運営規程一部改正について ・令和5年度上半期の事業執行報告について	承認
令和5年12月22日 書面審査	令和5年度第6回理事会 ・三井理事の解任について ・欠員理事1名の候補者選考について ・候補者 石原 克英氏(ブナの里事務長) ・第3回評議員会への提案議題について	全員の同意により承認
令和6年1月5日 書面審査	令和5年度第3回評議員会 ・三井理事の解任について ・欠員理事1名の選任について ・候補者 石原克英氏(ブナの里事務長)	全員の同意により承認
令和6年2月1日 13:30～ブナの里会議室	令和5年度第7回理事会 ・収支補正予算(案)について ・令和5年度第4回評議員会の提案議題等について	全員の同意により承認
令和6年2月16日 書面審査	令和5年度第4回評議員会 ・令和5年度社会福祉法人妙心福祉会収支補正予算(案)について	全員の同意により承認
令和6年3月14日	令和5年度第8回理事会 ・令和6年度事業計画(案)について ・令和6年度収支予算(案)について ・令和5年度第5回評議員会の提案議題について ・評議員選任・解任委員会招集について ・評議員選任候補者の推薦について	全員の同意により承認
令和6年3月28日	令和5年度第5回評議員会 ・令和6年度事業計画(案)について ・令和6年度収支予算(案)について	全員の同意により承認

2 新体制による施設経営

- 令和5年6月15日に令和5年度第1回評議員選任・解任委員会を開催し、浅野評議員の解任と新たに橋詰敏一氏の評議員選任が決まり、評議員7名体制で引き続きお願いすることとなりました。
- 令和5年度第1回評議員会において、新たに理事4名(再任3名、新任1名)と監事2名(再任)が決まりました。欠員の理事2名については、令和5年度第3回理事会(書面)にて前任理事の馬場成男氏及び川上進氏の候補者選考が承認され、令和5年度第2回評議員会(書面)にて 全員の同意により選任について承認されました。

また、令和5年度第4回理事会(書面)にて梨本理事が理事長に、上野理事が業務執行理事に選定されました。その後、三井理事の退任を受けて、令和5年度第6回理事会、同第3回評議員会において、新たに石原克英氏(ブナの里事務長)が理事に選定されました。これにより、梨本理事長以下6名の理事体制にて取り組むこととなりました。

II 法人経営の健全化に向けた取組み

1 経営改善の取組み

令和4年6月に策定した「中期経営計画」に沿って経営改善に鋭意取組みました。

- (1) 令和5年度から足元の業務改善を図るなか、各ユニットリーダーへ”チームとしての業務改善”に注力し併せてチームの時間外勤務を削減すべくユニット全体での取り組みを強化しました。その結果、介護職員の時間外削減については、一定の成果がありました。また、職員の目標シートに業務改善項目を設定しました。”チームブナの里”として業務改善への定着化を進めました。
- (2) 令和3年度に創設した「業務改善プロジェクトチーム」の活動では、経費削減に努めました。おむづ費用の削減等やケアサポートセットの導入など、日常業務の中で無償提供していたサービスの有料化に取り組みました。
また、令和6年度の介護報酬の改定に伴う情報収集、加算への取組みなども進めました。引き続き施設の課題解決に向け、「業務改善プロジェクトチーム」を中心に取り組みます。
- (3) 施設照明のLED化の取組み
施設照明のLED照明への切替は、令和5年7月12日に完了しました。これにより電気料金を前年比30%程度圧縮(試算ベース)できることとなりました。令和5年度の実績で特養施設では対前年比約3.7百万円の電気料金削減となりました。施設全体では職員の節電意識がベースとなり対前年比で5百万円超の電気料金の大幅な削減を実現できました。

2 設備資金借入金の取組み

(1) 独立行政法人福祉医療機構

既に令和4年9月に償還期間を延長し、償還金額の見直しを実施済みです。

(2) 株式会社第四北越銀行

年間償還額の見直し協議について、令和5年6月23日付返済条件変更契約書により契約変更済みです。年間償還額及び返済期間を5年間延長して30年とし、独立行政法人福祉医療機構に併せ期日を変更しました。

(第四北越銀行 期日:2039年5月31日、福祉医療機構 期日:2039年5月10日)

3 収益確保のための稼働率向上

(1) 特別養護老人ホームブナの里の稼働率

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R4	99.8	99.0	98.8	99.3	100.0	99.8	99.8	100.0	98.8	97.7	99.7	99.0	99.3
R5	96.0	99.5	98.3	98.1	97.6	97.8	98.7	98.3	94.2	98.4	98.4	95.7	97.6

○稼働率向上の取組み

今年度平均稼働率は 97.6%と前年比▲1.7%となりました。要因としては、施設で「疥癬」、「RS ウイルス感染症」、「コロナ感染症」が発生しその影響で入所を控えざるを得なかったことと、加えて入所手続きに相応の時間が掛かったことがあげられます。

今後は入所管理表により空室管理と入所手続き状況をチェックし、早期入所を進めて行きます。

(2) ショートステイブナの里の稼働率

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R4	81.2	78.9	81.0	87.9	90.0	91.7	85.2	82.7	88.5	77.3	80.4	79.5	83.7
R5	88.1	60.8	52.6	73.1	73.4	82.6	89.8	81.2	82.4	73.7	74.7	70.0	75.2

○稼働率向上の取組み

今年度は 75.2%と前年比▲8.5%と大幅に低下しました。6月の 52.6%を最低に、その後回復したものの、令和 6 年に入り、1月 73.7%となり 1 月から 3 月の平均で 72.8%と低下しました。稼働率向上に向けて関連病院への情報収集と営業セールスを実施し、居宅介護事業所及び近隣の信濃町の居宅介護事業所や関連病院へも情報収集と営業セールスを実施しました。継続して 2 ヶ月に 1 回程度の営業セールスを実施しています。

また、関係職員の連絡会議も月 1 回開催し、状況分析、課題等につき相互協力して稼働率向上に取り組んでいます。

(3) 居宅介護支援事業所山なんてん担当件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R4	54	53	55	53	53	54	52	53	53	51	52	53	53.0
R5	53	53	57	55	57	58	57	61	63	62	62	64	58.5

○令和 5 年度の平均担当件数の目標は 55 件

目標件数 55 件は達成し、それ以上の成果となりました。

4 令和 5 年度の事業収支について

令和 5 年度決算では、収入は 486 百万円と当初計画比約 23 百万円の減収となり、支出では、同計画比約 21 百万円の削減となりました。収支差額は、10.5 百万円となり、黒字決算となりました。年間を通して感染症の影響から収入が大きく減少したものの、職員一同の業務改善の意識が高く、小さな業務改善をコツコツ進めたことから、大きな経費削減に繋がりました。

III 施設運営の具体的な取組み

1 感染症対策

- ・ 7月の疥癬、8月のRSウイルス感染症、12月のコロナ感染症など施設に感染症が発生しました。感染症対策を実施していましたが、入居者に感染症が広がりました。その後感染防止対策を継続するなか、感染症は収束し、今現在、感染者は入居者様、職員とも発生していません。
- ・ 妙高診療所の松岡医師及び保健所の指導を受け、感染対策委員会を中心に機動的に対処するスキームを立ち上げました。訓練を都度実施し感染対策の実効性を高めていきます。

2 業務継続計画（BCP）への取組み

次に、BCPワーキングチームを4月に立ち上げ、自然災害チーム、感染症チームの2チームに分けて作業を進め、令和6年3月に業務継続計画（BCP）を作成しました。

また、災害緊急対応マニュアルも作成し、自然災害、火災等にしっかりと対応できることになりました。令和6年1月1日の能登半島地震では震度5強の強い揺れに襲われましたが、勤務していた職員及び参集した職員の協力により入所者、職員（家族含む）の安全を確認し、緊急対応はしっかりと対処できました。今後も訓練を実施する中で自然災害、感染症、火災等に対応すべく、取り組んでいきます。

3 施設設備の更新について

今般、自然災害による被害防止の観点から、施設を再点検し、修繕の必要な箇所を一覧表に整理しました。この修繕箇所一覧表により当該修繕工事が緊急性のものかどうかを検討し、必要な工事については、収支状況等を勘案したうえで当該箇所の修繕を実施しました。

また、大型設備機器の更新については更新計画表を作成し、これに沿って補助金制度の活用を含め、計画的に設備機器の更新を進めていきます。

4 人材の確保・研修について

採用活動では、長岡の専門学校や新潟の福祉関連大学へも採用の窓口を開きました。幅広く窓口を広げ、採用の可能性を少しでも高めるものです。従来の採用についても一部内容の見直しを実施しました。引き続き積極的に採用活動を続けていきます。

職員のキャリアアップとしてリーダー研修（対外研修）を再開しました。職員のキャリアアップについては、個々の面談を実施する中でケアマネ、介護福祉士等上位資格取得への取り組みを進めます。

また、外国人介護人材の採用に向け検討を始めました。情報収集や外国人材を採用している施設への視察を実施しました。新潟県及び妙高市の補助金制度も活用し、令和6年度中に外国人材採用に向け具体的な着手を図ります。

5 職員に対する健康づくりの取組み

“チームブナの里”の基本は、職員の健康にあります。令和5年8月に「新潟県健康経営推進企業」に参加しました。妙心福祉社会ブナの里の事業所カルテ(職員の健康診断に関する統計資料)の職員への開示や”食事と口腔ケア”へのパンフ掲示(隔月ごと)並びに健康診断への積極的参加など啓蒙活動を実施してきました。これからも職員の健康づくりに積極的に取り組んでいきます。